

# 桐生繊維業界の実態

平成26年1月～12月

桐生市繊維振興協会

## 桐生繊維業界の概要

※ 桐生市繊維振興協会の加盟団体を対象に、平成26年1月～12月までの業界実態を調査し、作成しました。（なお、桐生商工会議所 繊維部会、桐生織伝統工芸士会、有限責任事業組合 起龍については、組合員重複により調査対象とせず。）

また、加盟団体の退会等により調査対象に変更が生じる為、前年対比は参考数字とさせて頂く事を予めご了承下さい。

1. 調査対象団体数	12 団体	
2. 産地収入		
(1) 生産高	149 億 9,681 万円	
(2) 加工高	14 億 3,016 万円	
(3) 販売高	69 億 9,320 万円	
計	234 億 2,017 万円	
退会団体の収入（推定：前年対比97%）	19 億 9,806 万円	
計	254 億 1,823 万円	（前年対比 97%）
3. 組合員数（事業所数）	255 事業所	
4. 総従業員数（家族従業員含む）	2,138 人	
5. 一事業所当たり従業員数	8 人	
6. 一事業所当たり生産加工販売高	9,184 万円	
7. 年度別産地収入高		
平成 6年 産地収入	845 億 3,438 万円	（前年対比 95%）
平成 7年 産地収入	733 億 6,672 万円	（前年対比 87%）
平成 8年 産地収入	678 億 3,478 万円	（前年対比 92%）
平成 9年 産地収入	616 億 9,017 万円	（前年対比 91%）
平成10年 産地収入	528 億 4,669 万円	（前年対比 86%）
平成11年 産地収入	473 億 6,503 万円	（前年対比 90%）
平成12年 産地収入	444 億 7,222 万円	（前年対比 94%）
平成13年 産地収入	416 億 8,724 万円	（前年対比 94%）
平成14年 産地収入	376 億 2,047 万円	（前年対比 90%）
平成15年 産地収入	346 億 0,005 万円	（前年対比 92%）
平成16年 産地収入	453 億 8,571 万円	（前年対比131%）
平成17年 産地収入	436 億 5,236 万円	（前年対比 96%）
平成18年 産地収入	397 億 4,442 万円	（前年対比 91%）
平成19年 産地収入	375 億 4,078 万円	（前年対比 94%）
平成20年 産地収入	318 億 2,356 万円	（前年対比 85%）
平成21年 産地収入	287 億 2,461 万円	（前年対比 90%）
平成22年 産地収入	257 億 4,424 万円	（前年対比 90%）
平成23年 産地収入	258 億 0,221 万円	（前年対比100%）
平成24年 産地収入	257 億 5,924 万円	（前年対比100%）
平成25年 産地収入	261 億 8,835 万円	（前年対比102%）

## 1. 組合員数及び従業員数

団体名		組合員数 (事業所数)	従業員数				計 (人)	従業員 平均年齢 (歳)
			雇用従業員 (人)		家族従業員 (人)			
			男性	女性	男性	女性		
桐生織物協同組合	広幅協議会	56	168	227	51	71	517	54
	内地協議会	62	159	282	52	58	551	58
桐生染色組合		12	98	54	5	5	162	50
桐生繊維製品協同組合		22	114	192	21	17	344	48
桐生織物産地元売組合		4	6	4	1	1	12	51
桐生糸商組合		8	21	9	2	8	40	50
桐生刺繍商工業協同組合		45	70	112	64	64	310	58
東日本編レース工業組合		4	37	18	6	3	64	48
桐生意匠組合		10	1	1	3	7	12	59
桐生紋紙組合		10	5	0	5	4	14	63
東毛ジャカード刺繍協同組合		8	8	10	8	8	34	51
桐生織物商友会		9	12	9	4	7	32	58
桐生テキスタイル商業グループ		5	24	13	4	5	46	49
合計		255	723	931	226	258	2,138	

### 注

- (1) 平成 7年 1月13日 群馬県綿スフ織物工業組合 解散し退会。
- (2) 平成 7年 5月17日 桐生織伝統工芸士会 入会。
- (3) 平成10年 3月31日 両毛輸出織物整染工業組合 解散し退会。  
平成10年 3月31日 両毛輸出スカーフ組合 解散し退会。  
平成10年 3月31日 桐生織物商業組合 解散し退会。
- (4) 平成10年 4月 1日 桐生和服裁縫組合 入会。
- (5) 平成11年 3月31日 桐生金銀糸協同組合 解散し退会。
- (6) 平成12年 3月31日 桐生撚糸工業組合 解散し退会。
- (7) 平成13年 3月31日 桐生織物整経協同組合 解散し退会。
- (8) 平成18年11月28日 有限責任事業組合 起龍 入会。
- (9) 平成21年 3月31日 桐生和服裁縫組合 退会。

## 2. 生産、加工高及び取引先区分（工業部門）

団体名		生産高 (万円)	加工高 (万円)	計 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
						県内	県外
桐生織物協同組合	広幅協議会	349,836	20,374	370,210	95	0	100
	内地協議会	122,362	-	122,362	92	0	100
桐生染色組合		-	54,000	54,000	125	30	70
桐生繊維製品協同組合		792,900	25,220	818,120	98	17	83
桐生刺繍商工業協同組合		28,220	42,320	70,540	105	40	60
東日本編レース工業組合		182,425	-	182,425	98	10	90
桐生意匠組合		4,020	-	4,020	102	100	0
桐生紋紙組合		4,000	-	4,000	100	85	15
東毛ジャカード刺繍協同組合		15,918	1,102	17,020	85	2	98
合 計		1,499,681	143,016	1,642,697	108	13	87

## 3. 販売高及び取引先区分（商業部門）

団体名	販売高 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
			県内	県外
桐生織物産地元売組合	48,000	92	15	85
桐生糸商組合	400,000	100	75	25
桐生織物商友会	79,500	99	10	90
桐生テキスタイル商業グループ	171,820	95	1	99
合 計	699,320	98	45	55

#### 4. 内需向、輸出向区分

団体名		内需向		輸出向		計 (万円)
		金額 (万円)	割合 (%)	金額 (万円)	割合 (%)	
桐生織物協同組合	広幅協議会	321,308	87	48,902	13	370,210
	内地協議会	122,362	100	-	-	122,362
桐生染色組合		50,000	100	-	-	50,000
桐生繊維製品協同組合		818,120	100	-	-	818,120
桐生織物産地元売組合		48,000	100	-	-	48,000
桐生糸商組合		350,000	88	50,000	12	400,000
桐生刺繍商工業協同組合		70,540	100	-	-	70,540
東日本編レース工業組合		181,975	99.7	450	0.3	182,425
桐生意匠組合		4,020	100	-	-	4,020
桐生紋紙組合		4,000	100	-	-	4,000
東毛ジャカード刺繍協同組合		17,020	100	-	-	17,020
桐生織物商友会		79,500	100	-	-	79,500
桐生テキスタイル商業グループ		154,638	90	17,182	10	171,820
合計		2,221,483	95	116,534	5	2,338,017

#### 5. 各団体の取扱品目

団体名		品 目				
		割 合 (%)				
桐生織物協同組合	広幅協議会	服地	インテリア・ 資材	ネクタイ	その他	
		64	19	12	5	
	内地協議会	帯地	広幅生地	服飾品	着尺	
		57	21	16	6	
桐生染色組合		合織	レーヨン・アセテート	絹	綿・ウール	
		80	5	5	10	
桐生繊維製品協同組合		ブラウス	ニット・ カットソー	ワンピース	スカート	その他
		22	22	15	3	38

団体名	品 目				
	割 合 (%)				
桐生織物産地元売組合	帯地	二次製品	服飾工芸	着尺	その他
	40	20	10	10	20
桐生糸商組合	ポリエステル	アクリル	レーヨン	ナイロン	絹・綿・その他
	35	20	10	15	20
桐生刺繍商工業協同組合	婚礼衣裳	婚礼加工	プラス・ニット加工	ハンカチーフ加工	雑貨
	15	15	20	10	40
東日本編レース工業組合	インテリア	産業資材	衣料		
	63	28	9		
桐生意匠組合	洋反	インテリア	帯地	金襴	
	80	8	5	7	
桐生紋紙組合	エンドレス ペーパー	フロッピー	紋紙		
	35	45	20		
東毛ジャカード刺繍協同組合	ワッペン	Tシャツ	ワッペン・刺繍	その他の布帛	プリント加工
	65	7	14	10	4
桐生織物商友会	二次製品	和装小物	帯	着尺	その他
	60	15	15	1	9
桐生テキスタイル商業グループ	服地	ニット関係	その他		
	60	39	1		

## 6. 生産加工部門の現有設備状況

団体名		設備名	数量(台)
桐生織物協同組合	広幅協議会	普通織機	686
		自動織機(片レピア含)	210
		超自動織機(レピア)	395
		計	1,291
	内地協議会	広幅織機	67
		並幅織機	677
		小幅織機	128
		自動・レピア織機	206
		計	1,078
桐生染色組合	常圧噴射式染色機	55	
	高圧噴射式染色機	10	
	汎用染色機	10	
	チーズ染色機	30	
	高圧液流染色機	18	
	計	123	
桐生繊維製品協同組合	ミシン(特殊含)	245	
	プレス	27	
	裁断機	11	
	その他	90	
	計	373	
桐生刺繍商工業協同組合	横振ミシン	45	
	多頭式ミシン	350	
	計	395	
東日本編レース工業組合	ジャカードラッセル機	31	
	チェーンラッセル機	47	
	計	78	
桐生意匠組合	デザインシステム	20	
	コピー機	7	
	計	27	
桐生紋紙組合	デザインシステム	19	
	横彫カット・エンドレス	13	
	カードパンチ	10	
	ワンパンチ	3	
	計	45	
東毛ジャカード刺繍協同組合	コンピューターミシン	19	
	プレス	4	
	本縫いミシン及びその他の機械	22	
	パンチング製版機及びプリント機	4	
	計	49	

7. 最近の推移（H26年10月～H27年2月（※年間推移））

団体名		受注・引合の状況				販売（加工）単価の状況			
		増	変わらず	下降	前年対比 （%）	増	変わらず	下降	前年対比 （%）
桐生織物協同組合	広幅協議会		○		100		○		100
	内地協議会			○	89			○	97
桐生染色組合				○	85		○		100
桐生繊維製品協同組合		○			110		○		100
桐生織物産地元売組合		○			110	○			110
桐生糸商組合				○	95		○		100
桐生刺繍商工業協同組合		○			105	○			105
東日本編レース工業組合				○	80		○		100
桐生意匠組合			○		100		○		100
桐生紋紙組合			○		100		○		100
東毛ジャカード刺繍協同組合				○	90		○		100
桐生織物商友会			○		100		○		100
桐生テキスタイル商業グループ			○		100			※○	※95
合計		3	5	5		2	9	2	



## 8. 商品 消費者ニーズの変化について、平成26年(1月～12月)の状況、事業概要、今後の課題

### 桐生織物協同組合

#### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・産地商品に対する消費は依然として低迷している。  
輸出においては、中国向け欧米向けともに個性的な高級素材への関心が高くなってきている。  
受注数量は少量のものが多くなっている。
- ・和装部門においては、製品の販売方法が多様化し、消費者が様々な方法で製品を目にする機会があるため、特に今まで市場になかったような製品が求められる傾向がより強くなった。

#### 平成26年の状況、事業概要

- ・国内事業として、東京青山にて10月に桐生テキスタイルコレクション 2015AWを開催。  
また、JFW ジャパンクリエイションへの出展をした。  
輸出向けとして、9月にパリで開催されたテックスワールドパリに出展。
- ・和装部門においては、流通の弱体がより加速し、産地製品を全国に発信する機会がさらに不足するため、集散地である東京、京都における展示会を継続して実施した。  
また、市場が求める新しい製品の提供のため、新製品開発事業に取り組むなど、需要の喚起と販路の開拓を組合事業の柱として、和装振興のため多くの事業を行った。

#### 今後の課題

- ・多品種少量生産の特色を生かし、まだ市場に無い変化のある織物、より一層の高付加価値商品の開発が必要となる。
- ・和装部門においては、消費者の立場に立った、今までになかったような魅力を持つ製品の開発や、地域団体商標「桐生織」のブランド力向上による産地商品の信頼性の確立などが課題となっている。

### 桐生染色組合

#### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・一部の特殊素材を除いて、全般に市況は悪化。特に女性インナー向けの加工は皆無に近い。
- ・織物、レース、ニット平均15～20%の加工量ダウンである。

#### 平成26年の状況、事業概要

- ・桐生内地の織物は、先染、後染共低調。(平成25と比較しても20～30%仕事量が少ない。)
- ・レースのインナー向けは最悪。(生産は海外90%以上。)
- ・燃料(ガス・電気)は、昨年値上ったまま、染料、薬品の値上りが続いている。(5%前後)

#### 今後の課題

- ・昨年同様、依頼加工からの脱却を少しでも進める。但し、染色も国内回帰が一部でも見られるので、対応を念頭に置く。

## 桐生繊維製品協同組合

### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・商品のニーズは多様化する一方で、各企業が人手不足や賃金難で対応出来ていない現状です。消費者ニーズもブランド化が更に高まり、日本国内の市場において日本製の価値を見出すことが非常に難しくなっております。そんな影響からか海外市場への進出を模索する動きが増えているのですが、中小・零細企業では苦戦しているのが現状です。

### 平成26年の状況、事業概要

- ・人口減少の影響は大きく、国内需要だけを見ての商売では、先を見据えた事業展開が困難な状況になって来ております。そんな中、補助金を利用し新規の事業展開を模索する企業が増え、組合内でも補助金の勉強会を開くなどしております。以前より行って来ました実習生事業も、中国の経済発展に伴い、中国では実習生が集まらない状況に至り、その他ASEAN諸国から受け入れるなどの企業が増えています。

### 今後の課題

- ・今年に入り、廃業する企業や退会企業が続出し、組合運営にも大きな影響を与えております。事業展開、後継者問題等、課題は山積みで、当組合も大きな転換期であると考えております。今後、当組合においてもグローバル化が必要であり、変革が必要な時期ではないかと思っておりますので、急ピッチでその準備を進めて行きたいと思っております。

## 桐生織物産地元売組合

### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・富岡製糸場がユネスコ世界遺産に登録されたため、一部の本物志向の着物愛好者の間で需要が増えている。株価上昇の影響も考えられる。

### 平成26年の状況、事業概要

- ・消費税増税前の3月までは、成人式用の晴着の需要が多く、売上は増加していたが、4月以後その反動で停滞している。
- ・染料、糸等の価格の上昇、円安により外国生産（主に中国）の単価も急上昇しているが、需要は低迷しているため、生産業者、流通業者にとっては、きびしい1年であった。

### 今後の課題

- ・呉服の全体の売上高は、10年前には1兆円あったが、3,000億円に減少している。業界としては日本古来の伝統である着物の需要を1人でも多くの人に着てもらえるように努力していかねばならない。

## 桐生糸商組合

### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・極一部高級商品は動いているようだが、量は少ない。機能に特徴があったり、シルク使いの物が中心のようだ。一時期の東南アジア製品低価格品はたいして動いていない。

### 平成26年の状況、事業概要

- ・輸入糸の価格が円安の影響で上がる8月頃までは、前年と比較しても左程景気は下がらない感があったが、9月以降冷え込んで来た。特にファッションは苦戦している織屋さんが多いように思われる。

### 今後の課題

- ・桐生ブランド品を厳選して販売していくのも一つの方法だと思う。→ファッション
- ・染、整理、原料加工場が存続している間に機能的なものを確立できるかが一つの課題と思われる。→資材
- ・両毛産地群と捉え、協力体制をいかに作るか？

## 桐生刺繍商工業協同組合

### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・ニーズの多様化による小ロット生産が主体となっている。

### 平成26年の状況、事業概要

- ・円安に伴うコスト増等、材料等の値上がりが問題となっています。ただし、将来にむかって明るいきざしが多少見えつつある。

### 今後の課題

- ・技術者の高年齢による人材の確保は相変わらず難しい状況です。少なくとも若者も取り組んできている企業もある中、チャレンジを続ける事で、企業の技術、得意分野を磨き続ける事により、桐生刺繍の良さをアピールしてゆく事です。

## 東日本編レース工業組合

### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・高級品志向は相変わらず進んでいるが、消費税アップもあり値ごろ感のある商品が求められている。

### 平成26年の状況、事業概要

- ・消費税の3%アップにともなう駆け込み需要が前半にあり、後半はその反動が長引いており、又、円安による原料高が重なって苦しい状況にある。

### 今後の課題

- ・円高、中国への上昇等の要因により、低価格の輸入品は減少傾向にあるが、国内メーカーとしては、より付加価値の高い商品開発が求められる。

## 桐生織物商友会

### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・政府政策のデフレ脱却に反して、低価格商品を求める購買層はメジャーで有るが、高級志向の客層も増加していると思われる。

### 平成26年の状況、事業概要

- ・平成26年4月以降の状況は、やはり消費税導入の影響で減少している。株価の上昇等、明るい要因も有るが、小売業の販売は確実に厳しい状況下に有る。

### 今後の課題

- ・消費税の10%へのアップや格差社会の広がりの中、ますます商品開発が重要になってきている。市場は、ニッチで付加価値の有る商品を望んでいる。また、円高傾向により、生産拠点が内地に向き始めているのも事実で有り、生産キャパを確保していくのも大切な課題で有る。

## 桐生テキスタイル商業グループ

### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・客先からのニーズが、より小さな部分に対しての要望になってきている。
- ・引き続き価格を下げる要望が多い。

### 平成26年の状況、事業概要

- ・海外での製品生産は、ますますコストがあがってきている。
- ・輸入業は、円安の影響で利益が出なくなってきている。一方では、中国を中心に輸出数量が増えてきている。
- ・ヨーロッパからも引き合いが来るようになった。
- ・国内高級アパレルは、大きな変化はなく安定している。

### 今後の課題

- ・機屋、準備工程を含めての後継者がいない会社が多い。
- ・他産地における大手染工所など、関連業者の繊維事業からの撤退が全国的に止まらない。特に、縫製業においては、廃業が相次ぎ国内での対応ができなくなりつつある。そのため、中国での生産が円安や経済成長に伴うインフレにより価格メリットがなくなることによる生産の国内回帰の流れが受け止められなくなる傾向にある。
- ・いまだにアベノミクス効果が地方零細企業にまで効果が及ばない状況では、中国からの旅行者をターゲットとした、商品企画や販売形態を考慮する必要が出てきた。

以 上

## 桐生市繊維振興協会 加盟団体名簿

(順不同)

団体名	代表者名	所在地	電話 (0277)
桐生織物協同組合	後 藤 隆 造	桐生市永楽町5-1	43-2511
桐生染色組合	伊 藤 久 夫	桐生市相生町2-620 (株)アート内	54-5178
桐生商工会議所 繊維部会	朝 倉 泰	桐生市錦町3-1-15	45-1201
桐生繊維製品協同組合	岡 部 利 明	桐生市永楽町6-6	46-8118
桐生織物産地元売組合	木 村 俊 一	桐生市相生町2-230-1 (株)小野木商店 内	53-5131
桐生糸商組合	川 村 隆	桐生市仲町3-15-6 川村(株)内	44-4171
桐生刺繍商工業協同組合	村 田 欽 也	桐生市永楽町6-6	22-7919
東日本編レース工業組合	黒 澤 昇	桐生市永楽町6-6	22-3847
桐生意匠組合	増 田 正 明	桐生市東4-5-32 増田図案所 内	44-5334
桐生紋紙組合	高 松 靖 郎	桐生市宮前町1-6-60 (有)高松紋切所 内	22-4380
東毛ジャカード刺繍協同組合	西 村 千 春	桐生市新宿3-7-34	43-1166
桐生織物商友会	和 田 貞 之	桐生市川内町1-98-5 (株)ワダミツ内	65-6188
桐生テキスタイル商業グループ	篠 田 一	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
桐生織伝統工芸士会	後 藤 誠 三	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
有限責任事業組合 起龍	丸 山 裕	みどり市笠懸町阿左美1118 (株)大桐 内	32-5573

事務局 公益財団法人桐生地域地場産業振興センター内

〒376-0024 桐生市織姫町2-5

電 話 (0277) 46-1011

FAX (0277) 40-1300